

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス・グラスプⅢ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.501	△RG 0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ナノデス・グラスプⅢ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

比較対照ボール：ナノデス・グラスプⅡ

フレアーの幅 インチ

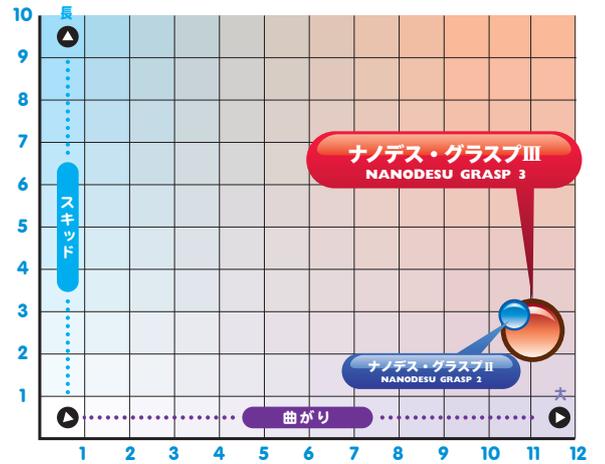
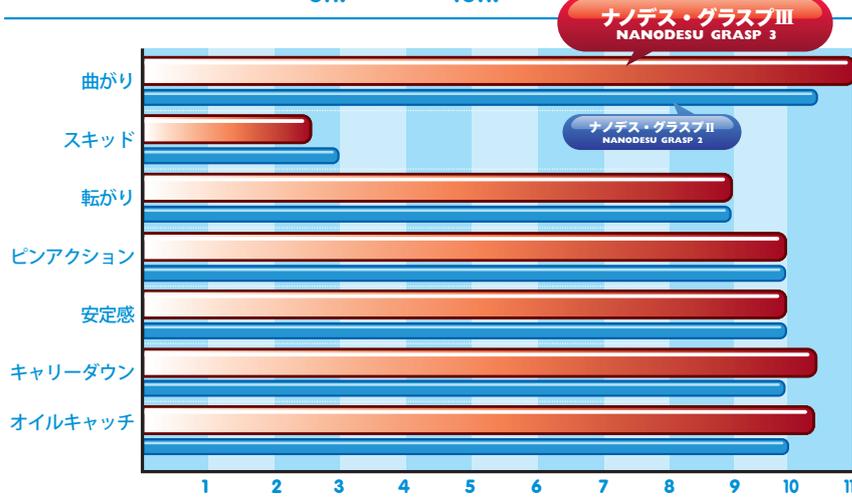
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

常に進化を掲げ、さらに匠製法に磨きをかける日本エポナイト社のナノデスシリーズ。特にこのGRASPシリーズはナノデスの中でも一番キャッチするヘビーオイル向けを担う領域。その最新作NANODESU GRASP3は、シリーズにおけるキャッチ力を更新し、最も対オイルに適合する最強のスペックとして発売されます。GRASPとしての曲がりや極端に変化が現れないようにシリーズを通してコアはそのままModified BIG Drum Coreを採用し、GRASP2で搭載されたNano-Thane6.0 SolidカバーストックはNano-Thane5.0 Solidカバーストックへ、#2000アブラロン仕上げを#1000アブラロン仕上げに変更して、トータルのキャッチと持続性、曲がり幅を調整しました。

強いカバーストックに粗い表面加工の組み合わせは手前でのブレーキを生み出しますが、ブレーキが掛かり過ぎることで中盤から後半にかけての曲がりを緩慢にさせるどころかピンキャリーまで弱めてしまいます。GRASP3は#1000アブラロン加工を施すことでブレーキが効きやすくなるので、あえて1ランクキャッチ力を抑えたカバーストックを採用することで、開発コンセプトでもある「シリーズ最大のブレーキ感と持続的なトータルフック」を可能にし、譲れぬ拘りの柔らかいピンキャリーを生み出す、オイルに対し絶対的な安心感と他社を寄せ付けぬ圧倒的なピンキャリーを実現しました。

テスト段階で「これほどキャッチさせる必要があるのか?」という自問自答の中、テスターでもある松永プロや本間プロなどの意見を多く取り入れ、男女問わず強いキャッチと曲がり幅を更新しました。

対応コンディションはヘビーからミディアムヘビーまで対応しますので、特にオイルに負けてブレーキが掛かり辛いボウラーやロングコンディションでその性能を発揮しますので、一番最上位のボールとしてご検討ください。

特記事項

NANODESU GRASPが最強のスペックで発売されます。
 走り過ぎてブレーキが掛からない方や曲がりやピンキャリー双方望んでいる方はこのボール一択と言えるでしょう。